

なぜケンブリッジインターナショナルクラス（以下IC）を新設したのですか。

ケンブリッジインターナショナルクラスを開設する目的としては、本校の理念をより高いレベルで達成するためです。理念を達成するためにこれまでも教育活動を実施して参りましたが、英語でもその理念を達成することを可能にする選択肢を新たに作ります。ICコースの設置により、本校の国際教育をさらに充実させ、生徒の選択肢を広げたいと考えています。

なぜMYPではなく、ケンブリッジ国際教育プログラムを導入したのですか。

ケンブリッジプログラムのうち、IGCSEの最後に公式の試験があります。IBDPにも最終試験があり、そちらの試験を受験する前に公式の試験に慣れることができるという点で利点があると考えています。また、IGCSEでは終了証が授与され、これは大学受験の際に学力の証明として提出することが可能です。さらに、ケンブリッジ国際教育とIBは、探究的な学習姿勢や思考力を重視する点で共通点が多く、IGCSEでの学びや試験経験はIBDPへの良い準備にもつながると考えています。

どの教科をケンブリッジ国際教育のカリキュラムで学びますか。

英語・数学・理科・社会をケンブリッジ国際教育のカリキュラムで授業を実施します。これらの教科は英語で学び、日本の学習指導要領にも則った形で本校のカリキュラムを作成します。

ICではどのような学習を行いますか。

ICコースでは、ケンブリッジ国際教育のカリキュラムに加え、日本の学習指導要領に基づく内容も英語で学習します。英語を通して、思考力や表現力を育成することを目指しています。

歴史総合などの科目はどのように扱われますか。

ICの社会科系科目は、ケンブリッジ国際教育の学習スタイルを取り入れながら、歴史総合などの内容も英語で学ぶ予定です。なお、ケンブリッジ国際教育の指定教科書は無く、探究的・発展的な学びを重視した授業を行います。

日本語力の維持はできますか。

国語については、日本の学習指導要領に沿って、現代文だけでなく古文・漢文も含めて学習します。また、学校生活や課外活動を通して、日本語でコミュニケーションを取る機会も多く、日本語運用能力を十分に育むことができると考えています。

ICに必要な英語力および日本語力の目安はありますか。

IC入試の英語の試験問題は英検2級以上、日本語の試験問題は日本語能力試験（JLPT）N2～N3程度を目安としています。

ただし、実際に入学される方はこれらの試験問題のレベルの目安よりも高い可能性があります。

英語力が高い生徒向けの取り出し授業はありますか。

ICでは英語力に応じたレベル分けの授業を行います。他コースと混ざることはありません。

ICの授業はネイティブ教員が担当しますか。

ネイティブ教員を中心に、英語で教える能力を有した経験ある教員が担当いたします。
ホームルーム担当は、日本人教員と英語話者の教員の複数担任制となる予定です。

ICでも複数担任制になりますか。

はい。ICにおいても複数担任制を予定しています。

ICから国際バカロレアコース（以下IBDP）へはそのまま進学できますか。

基本的には、ICからIBDPへ接続することを想定しています。

高校からIBDPやICに入学することはできますか。

はい。高校入試を経て、IBDPやICへ入学することが可能です。

アカデミアクラス（以下AC）・茗溪ジェネラルクラス（以下MG）からICへ変更することはできますか。

年度途中でのクラス変更はできません。各コースの在籍状況により、年度が変わる時点で変更できる可能性はあります。

音楽・美術・体育などは他コースと合同ですか。

音楽・美術はクラス単位で実施する予定です。

体育については、他コース（AC・MG）の生徒と合同で行う予定です。

また、部活動や学校行事などを通して、他クラスの生徒とも交流する機会があります。

授業以外でも英語を使う機会がありますか。

本校は多くの海外姉妹校と提携しており、交流授業や短期留学、ホームステイの受け入れなどを通じて、英語を使う機会があります。また、海外研修旅行や短期・中期・長期の留学プログラムも充実しており、授業以外でも実践的に英語を活用できる環境を整えています。

部活動との両立は可能ですか。

ICやIBコースでは課題や探究活動が多く、忙しい学校生活となります。一方で、部活動と両立している生徒も多くいます。学習とのバランスを考えながら、自分に合った活動を選択することが大切です。

茗溪学園にはどのくらい外国人教員がいますか。

専任・非常勤講師を合わせて、15名程度の外国人教員が在籍しています。

日本の大学進学を希望する場合、ICは不利になりますか。

いいえ、不利になるわけではありません。

ICコースはIBDPへの接続を想定したコースであり、本校のIBDP卒業生の約4割は国内大学へ進学しています。多くの生徒がIB入試や総合型選抜、学校推薦型選抜を活用しており、国内大学への進学において不利になっている状況はありません。

現在の国際教育プログラムや海外留学制度は、ICの生徒が優先されますか。

いいえ。コースに関係なく参加可能です。

ICコースを修了した場合も、日本の中学校卒業資格は得られますか。

はい。日本の中学校義務教育課程を修了した扱いとなります。

英検取得による優遇措置はありますか。

受験資格として英検資格を定めていますが、取得級による加点などの優遇措置はありません。

インターナショナルスクール在籍で、日本の小学校卒業資格がない場合でも受験できますか。

はい。受験可能です。